

日本共産党

八千代市議団 ニュース

2019年(夏季号)

発行:日本共産党八千代市議団
☎047(483)1151
市役所議員控室 内線3416
http://jcp-yachiyo.jp/



市政へのご意見、ご要望を
お寄せください

水道料金改定 おかしいぞ

大口を値下げ

一般家庭を値上げ

口径100mm 82,260円値下げ

口径13mm 335円値上げ

水道料金1か月当たり負担増の目安 (税抜)

口径	使用水量	現行	改定	負担増/減
13mm	11m ³	965円	1,300円	335円
20mm	18m ³	2,370円	2,620円	250円
25mm	37m ³	6,600円	6,640円	40円
30mm	131m ³	36,350円	35,510円	-840円
40mm	196m ³	62,900円	58,960円	-3,940円
50mm	376m ³	131,200円	123,680円	-7,520円
75mm	940m ³	349,700円	319,440円	-30,260円
100mm	2,474m ³	921,400円	839,140円	-82,260円

八千代市上下水道局資料により作成。使用水量は口径ごとの平均水量。

施設の維持・改修費用は 多量使用者の負担で確保せよ

今年10月の消費税増税と合わせて水道料金が引き上げられる予定です。

改定案は、左表のように一般家庭(口径13~25mm)を値上げする一方で企業な

多量使用者を大幅値下げするものとなっています。

このような理不尽な値上げは容認できません。

国は、水道事業の民営化を進めるために水道法の改

正を行ってきました。

千葉県では環境保全条例で、地下水の汲み上げについて市上下水道局など公益企業に規制をかける一方、民間事業者には、規制の網をにかけていません。

京都市では、地下水に切り替える大口の需要者に対し、基本料金に一定の水量分を含めた料金体系とし、

将来の施設の維持・補修等の財源の確保ができたとしています。

八千代市が京都市のような料金体系にすることは制度上可能かとの質問に、市は制度的には可能と答弁しました。

日本共産党は、安心・安全の水道事業のために頑張ります。

市庁舎建て替えて借金が 90億円も増えて大丈夫

市が作成した基本計画では、八千代市役所庁舎建て替への費用が118億円に

もなり、当初の105億円程度から13億円も増え、費用計上していないものも含めると、さらに費用は膨らむこととなります。

市は当初、「10年後にはいずれ建て替えなければならぬ」と説明していましたが、免震工法による大規模改修でも、十分耐えられる

ことが明らかになっています。

さらに、市は「建て替える」を決断する際に、国からの緊急防災・減災事業債(約70%交付)に対する検討もして来なかったことも明らかになっています。

今後とも市の「建て替え」ありきの姿勢と財源問題について追及してまいります。



市庁舎建て替を住民合意で
進めるべきと要望書提出

東葉高速鉄道運賃値下げ 市長選公約-大手町駅まで310円は?

服部市長に「東葉勝田台駅から大手町駅まで310円」の公約について質問しました。しかし、市長は、「経営改善が先だ」として、運賃引き下げの公約を投げ捨てています。公約違反は許せません。

八千代市の服部市長と船橋市長、千葉県が国へ対し「東葉高速鉄道の経営安定化に向けた支援に係る国への要望」を提出してから4か月以上過ぎているが具体的な進展について質問しました。

「要望に対する国からの回答はなく、引き続き要望していく」との答弁でした。

さらに自立支援委員会は、「運賃引き下げに向かうどころか『約定償還』の上に、繰上償還まで行っている」と指摘し、東葉高速鉄道の利益の一部を回せば運賃引き下げは可能と、日本共産党は主張しました。

市は「2732筆の要望」を重く受け止める

日本共産党は、「運賃引き下げを求める要望書」を東葉高速鉄道に提出しました。短い期間にも関わらず3千筆近くの要望書が集まっていることに対し、市は「大変重く受け止めている」答弁。

日本共産党八千代市議団では、今後も東葉高速鉄道の運賃引き下げの為に粘り強く頑張ります。

オスプレイの暫定配備 撤回を求め防衛省に要望書を提出



ブロック塀撤去費補助 代理受領制も導入

昨年、大阪北部地震で倒壊したブロック塀により女子児童の命が奪われる痛ましい事故が起きました。

これを受け、八千代市でも学校のブロック塀など公共施設への対応が進められました。しかし、通学路に

ある民間のブロック塀に対する補助制度はなく、早急な新設を求めてきました。

市は、今年度からブロック塀に対する補助制度とともに、市民の負担軽減のため、補助金を差し引いた金額で契約できるシステム(代理受領制度)を導入しました。これは、日本共産党

が強く求めてきたものです。これからも安心・安全のまちづくりのため頑張ります。



いいかわ英樹
☎080-1239-8132



いはら忠
☎047-1488-7207
☎047-1494-8009(事務所)



堀口明子
☎047-1767-5030(事務所)
☎047-1494-7810(FAX)



植田進
☎047-1487-19754
☎047-1485-5089(事務所)



無料法律
相談会
専門家が相談に
応じます

(日時) 奇数月 第3木曜日
午後2時~4時

(場所) 市役所4階 日本共産党控室
ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ! ※予約が必要です

教員の未配置は許せません

「市・県の責任で解決を」

八千代市の未配置教員数は、5月末現在で小学校が4校で5人、中学校は3校で5人。そのうち担任の未配置は1人です。

「新学期が始まったばかりなのに、担任の先生がいらない」「産休や病気休暇の代替の先生が来ない」など、年度初めに法律で定められた教員が配置できない、いわゆる教員の「未配置問題」が今年度も起きています。

未配置となった学校では、教員一人当たりの業務量が増え、長時間労働に一層拍車がかかっています。教員にとっても子どもたちにとっても

とつても「より良い教育環境」とは言えず、法律違反の教員未配置は、許せません。

教員の採用を決めているのは、千葉県教育委員会です。安上がり政策の下、本

阿蘇小の統廃合は無理

再度、存続を訴える

教育委員会は、地域の住民の声を無視して阿蘇・米本地域の小学校3校の統廃合計画を進めてきました。

その後「施設一体型小中一貫校」を阿蘇中に設置する方針に転換。今年になっ

来正規で採用すべきなのに「非常勤講師」が多数採用され続け、産休・病休対応に非常勤講師が配置できない状況です。解決のためには正規教員の採用を増やし、定数内講師を段階的に減らすことです。

日本共産党は、定数増による正規教員枠拡大で「未配置問題」を解決することを求めます。

近年子どもの貧困問題は深刻です。船橋市では学校給食費を滞納した家庭を裁判に訴える事まで行っています。しかし、調べて見ると一人親家庭やお子さんが4人以上いる家庭が多いのが実態でした。

千葉県内では7自治体が学校給食費無償化へ、そして市川市ではお米代の補助。いすみ市では第2子半額、第3子以降無償化を進め、子育て中の家庭を応援する取り組みが進んでいます。

八千代市は学校給食費の無償化や第2子半額・第3



大阪府箕面市で防災ステーションの説明を受ける

あたたかい給食を子どもたちに

八千代市の阿蘇小・大和田小・萱田小・新木戸小学校は各学校で給食が作られる自校給食校。ほかの29小・中学校はセンター給食校です。

今年度から予算化されている東側地域の大型給食センターが完成すると4校の自校給食校も廃止するのが現在の市の方針です。



の食材を利用しやすく、学校で給食が作られることで地元の農家さんや調理員さんなど、作り手が見え交流を深めることができます。

センター給食では、八街市で炊かれたご飯が、朝7時から9時半の間に学校に届きます。直前に炊く自校給食校とはおいしさも異なります。

様々な角度から検証しても大型給食センターを建てるより、自校給食校へ切りかえるべきです。

安心して住み続けられる緑が丘西地域へ

緑が丘西地域は「はぐみの杜」とも呼ばれ、計画人口1万4千人の新しい街です。しかしこの地域には公民館などのコミュニティ施設が無く、緑が丘駅よりもさらに離れた緑が丘公民館を利用しなければなりません。

また、緑が丘西地域には公共交通がありません。「駅まで歩いて30分もかかって大変」という声があがっています。

6月議会で確認したところ、「既存バス路線の一部振替などについて調整を進める」との答弁がありました。これは、緑が丘西地域北部のせまい道路が拡張されることでバスが通れるようになるものです。

日本共産党は、公共交通の早期実現のため頑張ります。

中学校設置を求める市民の声

緑が丘西地域にはみどりが丘小学校がありますが、中学校はありません。中学生については緑が丘西地域を南北に分けて、高津中学校と睦中小学校に通学しています。

しかし地域からは、「睦中への通学は人通りが少なくて心配」「地域の防犯活動を行う上でも両方の通学路に対応しなくてはならない」などの声が寄せられています。

市長は「どんなに優れた事業でも地域住民や関係者に理解されていないものは行なうべきではない」と述べています。

阿蘇小学校を残すことが子どもや地域の人が納得できる最善の方法です。

阿蘇小学校を残すことが子どもや地域の人が納得できる最善の方法です。

2019年6月議会 日本共産党市議団調べ 主な議案・請願・日本共産党提出の発議案に対する議決結果

議案・請願	議決結果	賛成数 反対数	日本共産党			市民クラブ					公明党				自由民主党				絆		新未来			菅野	三田							
			堀口	飯川	伊原	植田	嵐	小澤	澤田	西村	花島	林隆文	木下	正田	末永	立川	緑川	伊東	江野澤	大塚	成田	林利彦	大澤			塚本	宮内	河野	高山	山口		
議案第1号 消費税増税に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決	賛成22 反対5	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
令和元年度八千代市一般会計補正予算(第1号)	可決	賛成22 反対5	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
4 常任委員会の開催時間をそれぞれずらして市民が確実に傍聴できるようにすることを求める請願	採択	賛成27 反対0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公契約法の早期制定を求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
生活保護基準の引下げ中止を求める意見書	否決	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
陸自オスプレイの暫定配備撤回を求める意見書	否決	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
子ども医療費の高校卒業までの窓口無料化を求める決議	否決	賛成5 反対22	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらず 敬称略